

# 岡崎嘉平太記念館

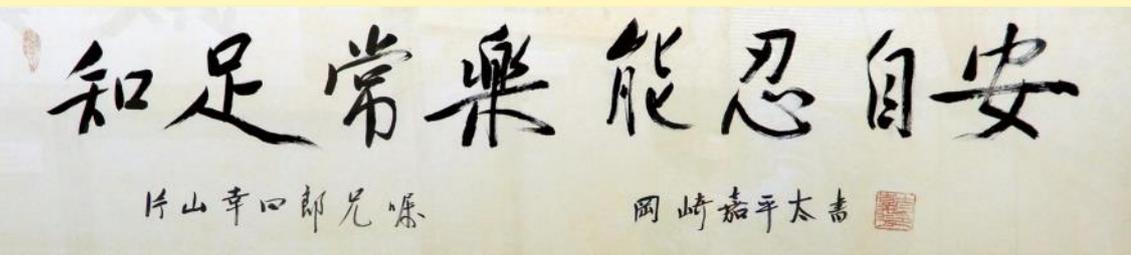


Vol. 36

だより



じけん あ てんか さき な  
「慈儉敢えて天下の先と為らず」中国古代の思想家、老子の言葉。原本には「一に曰く慈、二に曰く儉、三に曰く敢えて天下の先と為らず」とあり、第一に慈愛の心を持つこと、第二に儉約し、第三に人に先んじようとしないう事である、という意。(参考：著・野村茂夫『鑑賞中国の古典4 老子・荘子』1988年 角川書店)



片山正一氏寄贈  
上「足るを知れば常に楽しくよく忍べば自ら安らぐ」中国古典『菜根譚』にある言葉。現状に満足することを知る人は楽しく暮らせる、辛抱忍耐すれば自然と平穏な生き方ができる、という意。

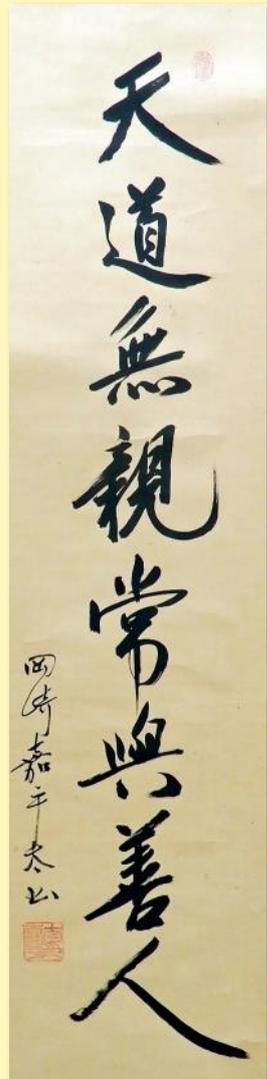


「耕心」字の通り「心を耕す」という意。  
岡崎氏はよく故郷の小学校や中学校に「讀書以耕心田(読書をもって心田を耕す)」という書も贈っている。

岡崎ひとみ氏寄贈

ぜんにん くみ  
右「天道は親無く常に善人に興す」  
〔大意〕天のやり方にはえいこひいきが無く、常に善人の味方をする。中国古代の思想家、老子の言葉。(参考：著・野村茂夫『鑑賞中国の古典4 老子・荘子』一九八八年 角川書店)

木口富美子氏寄贈



## 岡崎嘉平太氏遺墨について

昨年の秋の特別企画展「遺墨にみる一岡崎嘉平太の人間像」(令和3年10月1日(金)～12月26日(日))では、岡崎嘉平太氏の初公開の遺墨を多数紹介しました。岡崎氏は経済界や日中友好関係で活躍するかたわら、自ら多くの書を残しています。岡崎氏が残した書や言葉からは、その人柄や生き方が生き生きと表現され、気韻を感じさせるものが多くあります。この度多くの方からご協力をいただき、生まれ故郷である吉備中央町、そして「第二のふるさと」でもある総社市から多くの遺墨を借り受け、一堂に展示する機会に恵まれました。これらの遺墨は、岡崎氏が頼まれて書いたものが殆どと思われませんが、その言葉からは岡崎氏の人柄や生き方、こうありがたいといった理想をうかがうことが出来ます。また揮毫に選んだ言葉の出典は、仏教やキリスト教、中国の古典(儒教や道教を含む)に至るまで幅広く多岐に渡るもので、氏の知識の奥深さも垣間見えます。経済界等の常に第一線で活躍し続け、晩年は日中友好活動に心血を注いでいた岡崎氏は常に柔和で自らの偉業を誇る事無く、和を重んじたとききます。時にはのびのびと、時には勢いよく走るように、また時には堂々とした筆跡から、岡崎氏の心情をも読み取れるのではないかと思います。

また、遺墨展に際して実施した遺墨調査では多くの方にご協力いただき、この度の展示或いは、遺墨の寄贈等へとつながり、当館としても大変有難く、心より感謝申し上げます。引き続き、岡崎嘉平太氏の遺墨調査を続けて参りたく、今後ともご協力をお願いいたします。

## 岡崎嘉平太記念館開館20周年記念特別企画展 「遺墨にみる一岡崎嘉平太の人間像」の開催

令和3年10月1日(金)～12月26日(日)

太の書の世界を紹介しました。また、新しく御遺族より寄贈された岡崎嘉平太氏の印や印泥などの書道具も紹介、ほとんどが初公開となりました。期間中2070人の方がご来場下さいました。  
※岡崎嘉平太記念館では、開館以来、岡崎嘉平太氏の遺墨(遺した書)を調査してまいりました。もし岡崎嘉平太氏の遺墨をお持ちの方がおられましたら、当館まで情報をお寄せ下さい。



特別企画展会場風景

## 「岡崎嘉平太記念館開館20周年記念式典」開催 令和3年9月23日(祝・木)岡崎嘉平太記念館前

にて行いました。式では岡山県環境文化部長佐藤将男部長からの挨拶に続き、(公財)岡山県郷土文化財団の石井清裕理事長からも主催者挨拶がありました。

続いて来賓代表の吉備中央町議会難波議長からの祝辞の後、山本雅則吉備中央町長へ知事感謝状が贈られました。式後当館学芸員より、秋の特別企画展「遺墨にみる一岡崎嘉平太の人間像」の展示解説を行いました。当初9月23日より特別企画展を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響にともない閉館となっていたため 特別展は10月1日からの開催となりました。



式典風景



佐藤部長から感謝状を受ける山本町長

## 岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第20回講演会の開催

令和3年11月6日(土)吉備高原リゾートホテル大ホールにて、2年ぶりとなる「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第20回講演会」を新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて開催しました。

岡崎嘉平太記念館では、日中友好や世界の平和に尽力した岡崎嘉平太氏の功績や生き方を学ぶために、開館以来、毎年講演会を開催しております。

本年は、独立行政法人国立文化財機構理事長であり九州国立博物館長でもある島谷弘幸先生をお招きし「主としてアジア諸地域との文化交流の歴史を主題として、わが国の文化が、アジアとの相互交流の歴史の中で形成された」ことを館の基本理念としアジア各国の博物館と姉妹提携を結ばれている九州国立博物館の取り組みや歩み等、そして書をご専門とするお立場から当館特別展の岡崎嘉平太遺墨展の遺墨に焦点を当てた岡崎嘉平太氏の人間像、また“岡山の偉人”の遺墨からうかがえる人物像や書の魅力等をご講演いただきました。当日は県内外から90名の参加者があり、ご講演に聞き入っておられました。



島谷弘幸先生



講演会場

※講演の記録は冊子にまとめ発刊し、ご希望の方には頒布いたします。  
詳しくは岡崎嘉平太記念館までお問い合わせ下さい。

## 「岡崎嘉平太記念館開館20周年記念 岡崎嘉平太の心 書道展」に多数応募いただきました

開館20周年を記念して募集した書道展に937点の作品が寄せられました。令和3年10月22日(金)に締切を迎え、厳正なる審査の結果、岡崎嘉平太大賞1点、岡山県郷土文化財団理事長賞3点、岡崎嘉平太記念館長賞3点、入選30点が選ばれました。ご応募いただいた全作品を令和4年3月5日(土)～4月7日(木)まで岡崎嘉平太記念館で、4月26日(火)から5月1日(日)まで岡山市の天神山文化プラザでも展示します。

## 岡崎嘉平太国際奨学財団第30、31期生来町 令和3年11月20日(土)

岡崎嘉平太国際奨学財団の第30期生3名と第31期生1名、佐伯事務局長、事務局の崎山さんが来町来館されました。同財団は、嘉平太氏の遺志を継承するためにANAが中心となり1990年に設立、以後毎年アジア諸国から日本留学を希望する優秀な青年を日本に招き支援を行っており、卒業生は100名を超え様々な分野、国々で活躍しています。当館には開館年度から毎年来館下さっており、今年も記念館で岡崎嘉平太氏について学んだ後、嘉平太氏の菩提寺である妙仙寺や墓所の訪問、大和山山頂で桜の植樹、備前焼き体験等を行いました。



岡崎嘉平太記念館にて



妙仙寺にて



大和山山頂望郷の碑前にて



大和山山頂付近での植樹風景



陶芸体験

### 「岡崎嘉平太記念館開館20周年記念 岡崎嘉平太記念館20年のあゆみ展」開催

令和3年8月1日(日)から19日(木)まで岡崎嘉平太記念館で開催(当初30日(月)まで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で9月12日まで閉館となりました)。平成13年(2001)の開館から令和2年度までの各年度での行事や出来事等をパネルにして紹介、同時に過去に来館した中国要人等から館へ贈られた品々を紹介し、20年のあゆみを振り返りました。また同時企画として嘉あちゃんの部屋にて岡山県生涯学習センター所蔵のデジタルアーカイブ「発掘!おかやま映像玉手箱『岡山県ニュース』」を上映いたしました。同パネルは9月23日(木)の記念式典、また岡山県庁県民室でも令和3年12月13日(月)～12月17日(金)まで展示しました。



県庁県民室にて

### 「岡山県博物館協議会30周年記念事業 岡山県博物館めぐりの旅 加盟館紹介パネル展」開催

令和3年12月3日(金)から19日(日)まで岡崎嘉平太記念館前廊下で開催。様々な特色を持つ、当館を含む県内86の加盟館をパネルで一堂に紹介しました。



### 「2020年度 岡山県自然保護センター写真展」開催

令和4年1月7日(金)から31日(月)まで開催。和気町にある岡山県自然保護センターが毎年、「自然保護センター内」で見つけた動植物や、それを見つめる人々など、自然からのメッセージが感じられるような作品を広く募集した写真展を開催しており、入選、入賞に選ばれた26点を「嘉あちゃんの部屋」で紹介しました。



### 「令和3年度 吉備中央町図画展」開催

主催:吉備中央町教育研修所 協力:岡崎嘉平太記念館

令和4年1月15日(土)から24日(月)まで、県の児童生徒絵画展において特選を受賞した1点とともに、町内、ブロック審査会で優秀作品に選ばれた作品や、幼稚園、子ども園児の作品を紹介しました。

## 来館くださいました

令和3年10月6日(水)吉備中央町内の津賀小学校4年生、11月25日(木)には御北小学校4年生の皆さんや先生方が授業の一環で来館下さいました。学芸員による紙芝居や、館内説明、クイズ等で学習した後ANAオリジナルの紙飛行機を作ってきびプラザの広場で飛ばしました。また11月12日(金)には上竹荘小学校、下竹荘小学校2年生のみなさんが、見



学に来て下さいました。

当館では郷土の誇りである岡崎氏について子供達にしっかり伝えていきたいと出前講座も含めて教育普及に努めています。

←授業風景→



令和3年11月27日(土)華僑華人総会様企画のバス旅行で中国からの留学生さん等35名が来館下さいました(写真右)。また12月1日(水)には児島婦人協議会様24名がご来館下さいました。

(写真右)



令和3年11月11日(木)中華人民共和国駐大阪総領事館の副総領事と中国東方航空職員の13名が来館下さいました(写真上右)。



## 講演しました

令和4年1月20日(木)に岡山県郷土文化財団評議員の河田

啓子元館長が嘉平太氏の母校でもある県立岡山朝日高等学校で行われたボランティア講座で、約380名の1年生の皆さんに嘉平太氏の生涯や功績を紹介しました。この度は校内でのリモート講演となりました。



朝日高等学校にて生徒よりお礼を受ける

### 『岡崎嘉平太さんとの思い出』を募集しています

皆様から岡崎嘉平太氏との思い出を募集いたします。お寄せいただいたエピソードや写真の一部は当館が主催する行事等で紹介させていただくこともあります。岡崎嘉平太記念館ホームページの『岡崎嘉平太さんとの思い出』募集中』フォーム、またはFAX、郵便等でもお受けいたします。是非ご協力下さい。

岡山県記録資料館 令和3年度企画展連携展示  
「子どもへのまなざし - 地域の中の育み」

ふる里を愛した嘉平太さん

—嘉平太さんの子どもころ—

令和4年2月5日(土)～28日(月)

岡崎嘉平太記念館開館20周年記念

**岡崎嘉平太の心 書道展**

展示期間

令和4年3月5日(土)～4月7日(木)

岡崎嘉平太記念館

令和4年4月26日(火)～5月1日(日)

岡山県天神山文化プラザ第2展示室大室(岡山市)

※両会場とも応募いただいた全作品を展示します。

## 催しのご案内

## 第16回 嘉平太が愛した ふるさと岡山写真展

※応募締切は令和4年3月2日(水)

展示期間

令和4年4月16日(土)～6月19日(日)

岡崎嘉平太記念館

令和4年7月12日(火)～17日(日)

岡山県天神山文化プラザ第1展示室小室(岡山市)

※両会場とも応募いただいた全作品を展示します。

※岡崎嘉平太記念館「嘉あちゃんの部屋」は当館が使用する期間を除いて主に町内の団体や個人の方に学習の場、作品発表の場等としてどなたでもお気軽にご利用いただけます。ご希望の方は当館までご相談下さい。



編集・発行:岡崎嘉平太記念館

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町

吉川4860-6

きびプラザ内



TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066

HP <https://www.okazaki-kaheita.jp>

Eメール [okmh@okazaki-kaheita.jp](mailto:okmh@okazaki-kaheita.jp)